

2018年4月27日

株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ

一般財団法人 社会的投資推進財団

キャピタルメディカ・ベンチャーズ、社会的投資推進財団
未病・最先端医療分野の社会課題解決を目的としたヘルスケア・ファンドにおいて
社会的インパクト評価を実施することを神奈川県と合意
～国内初の社会的インパクト評価を実施するヘルスケアに特化したベンチャーファンド～

株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ（代表取締役：青木 武士、以下、CMV）と一般財団法人社会的投資推進財団（代表理事：青柳光昌、以下、SIIF）は、2018年3月30日に設立された「ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド（HCNF）」において、投資先ベンチャー企業が創出する社会的インパクトを可視化し、評価していくことを神奈川県（県知事：黒岩祐治）と合意しました。社会的インパクト評価を実施するヘルスケアに特化したベンチャーファンドとしては国内初となります。

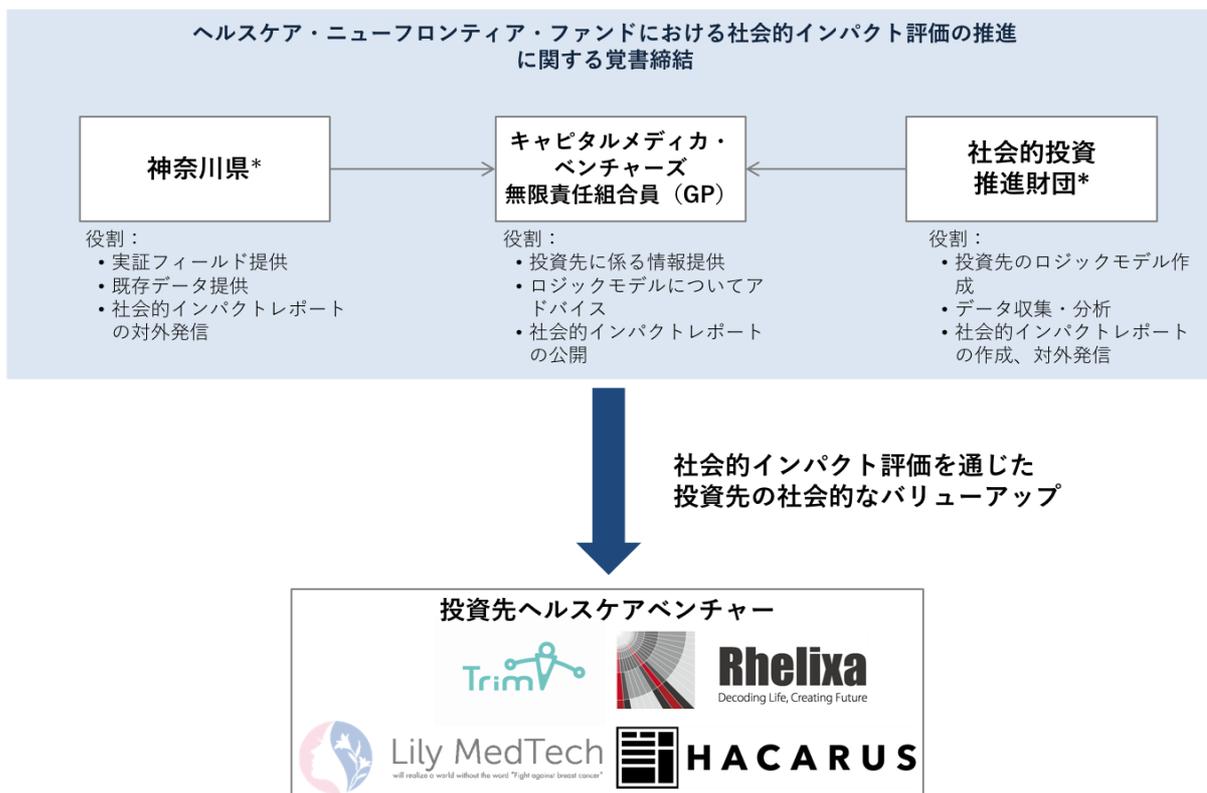
「ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド」は、神奈川県が推進する健康寿命の延伸と新たな市場・産業の創出を目指すヘルスケア・ニューフロンティアの早期実現と未病・最先端医療分野の産業創出および社会課題解決に資するベンチャー企業の支援を目的として設立された VC（ベンチャーキャピタル）ファンドです。CMV は、CMV グループの支援先医療機関や高齢者施設、さらに神奈川県等と連携し、投資先ベンチャー企業に「資金提供」のみならず新しい技術、商品、サービス等の機能・効果等を検証する「場の提供」をもって、投資先の成長を継続的に支援します。SIIF は、社会課題解決を図ると共に経済的な利益を追求する「社会的インパクト投資」を推進する機関として、当ファンドに出資するだけでなく、投資先ベンチャー企業が創出する社会的インパクトを評価するために必要な支援を提供します。

本ファンドは、ヘルスケア分野において質、アクセス、コストを改善することで社会課題を解決しヘルスケア分野の産業創出が期待できるベンチャー企業を投資対象としています。投資先への継続的な支援を通じて、投資先の事業成長だけでなく社会的インパクト創出との両立を目指します。具体的には、神奈川県や CMV が社会的インパクト評価に必要な情報や実証フィールド等を提供し、SIIF が投資先の事業についてロジックモデルを作成し、社会的インパクト創出の進捗状況を確認します。確認した進捗状況は、定期的に投資先や出資者とも共有し、社会的インパクトレポートとして一般に公開することを予定しています。

日本は世界に先駆けて超高齢社会に直面しています。政府による成長戦略「未来投資戦略 2017」では、保健福祉分野で社会的インパクト投資などの取組みを広げ、新しい健康・医療・介護システムを構築することを目指しています。また、神奈川県は 2017 年に国際シンポジウム「ME-BYO サミット神奈川 2017in 箱根」を開催し、「ME-BYO 未来 戦略ビジョン」を採択するなど、国に先駆けて持続可能なヘルスケア社会システムについて議論を行い、取組みを進めてきました。

SIIF は、本ファンドが投資をする全てのベンチャー企業に対して、社会的インパクト評価を実施し、投資先の事業成長と企業価値向上を推進します。また、長期的には、本ファンドの活動を通じて、社会的インパクトを追求することが企業価値の向上につながる投資モデルを提示することで、経済的な利益だけでなく社会課題解決を追求する社会的インパクト投資が日本国内で増えることを期待します。

実施体制案



* 有限責任組合員 (LP) としての出資も行う

以 上

「社会的インパクト」とは、HCNF ファンドの投資先の事業を通じて提供される技術、商品、サービス等により県民や社会に生まれる変化及び効果をいう。

「社会的インパクト評価」とは、社会的インパクトを定量的・定性的に測定することをいう。

「社会的インパクト投資」とは、社会面・環境面での課題解決を図ると共に、経済的な利益を追求する投資行動をいう。

「ロジックモデル」とは、投資先の事業と社会的インパクトの関係を、「インプット」、「事業活動」、「アウトプット」、「アウトカム」の関係として図示したものをいう。

「社会的インパクトレポート」とは、HCNF ファンドの成果の対外的な発信・報告を目的として、社会的インパクト評価の結果等をまとめたレポートをいう。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 青木、飯塚 TEL:03-5501-2230

一般財団法人社会的投資推進財団 菅野 TEL:03-6229-2622 / E-mail: pr@siif.or.jp